



.....



20世紀の映像百科事典

エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ

を見る

連続上映会

7 台所

上映プログラム

ECフィルムより

ピングア・ピグミー族(赤道アフリカ・サンガ地方) 女たちの共同漁撈 / 1977年

マサキン族(東アフリカ・コルドファン) 料理と食事 / 1963年

クラホ族(ブラジル・トカンティンス地方) 亀の捕獲と料理 / 1965年

*民族名、撮影地名には、現在では用いられない名称がございますが、製作当時の表記を尊重しました。

特別上映

FENICSのフィールドワーカーたちが撮影した、世界各地のフィールドの「台所」映像
(アマゾン、インド、ラオス、中国、南極ほか)

ゲスト

FENICSメンバー

佐藤靖明 (東アフリカ・民族植物学)

福井幸太郎 (南極ほか・雪氷学)

小西公大 (インド・社会人類学)

大橋麻里子 (アマゾン・環境社会学)

梶丸岳 (ラオス・中国・歌掛け研究)

椎野若菜 (東アフリカ・社会人類学)

2014.7.20 日

17:30開場 / 18:00開演

会場: Space&Cafeポレポレ坐

予約: 03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムズ社)

料金: 予約1,500円 / 当日2,000円 (ワンドリンク付)

かつて壮大な映像百科をつくらうと夢見た人々がいた。



今に生きる私たちの目線で読み直し、虫干しして、
 多彩な分野の人々との対話を通して新しい息吹をふき込む試みである。
 これらの映像の中に、私達の未来に必要な宝物を見つけられるかもしれない。

エンサイクロペディア (EC) シネマトグラフィカとは？

1951年、ドイツ・国立科学映画研究所で、科学映像を
 めぐる一大計画が始まった。「エンサイクロペディア・シネマ
 トグラフィカ」(EC)と題するこのプロジェクトは、世界中の知
 の記録の集積をめざした映像による百科事典。以後30年近くの
 歳月を費やして数多くの研究者・カメラマンが世界各地に赴き、
 現在は失われた暮らしの技法や儀礼などの貴重な記録を含む、
 2000タイトル強の映像アーカイブが制作された。ECはさらに
 各国機関に渡り、日本でも1970年より下中記念財団によっ
 て、アジアで唯一のフルセットの映像が管理・運用されてい
 る。だが21世紀現在、本家ドイツのECプロジェクトは解
 散、日本でも16mmフィルムという記録媒体が障
 壁となり上映機会はほぼ途絶えていた。

連続上映会 ⑦ 台所

人間は食物を手に入れ、調理し、食べる。毎日欠かせないこの営みは、世界ではどのように行われているのだろうか？EC映像が記録した、どこでも台所にしてしまう狩猟採集民の見事な技や、システムティックな牧畜民のキッチン。これに加えて、『FENICS 100万人のフィールドワーカーシリーズ-衣食住からの発見』の出版にあわせ、熱帯アマゾンから南極まで、研究のため世界にくりたすフィールドワーカーたちを迎え、現場ならではの食材をほおぼり、ときに工夫や我慢しながら食をとる、十人十色の「台所」談義をうかがいます。

本上映にあたり

短編映像のモザイクの海からさがす宝物

「食べる」「寝る」「子を産む」…さまざまな行動をテーマに、チンパンジーに爬虫類、微生物から人間までを記録した生物学シリーズ。民族学分野では「パン作り」だけで世界40地域のタイトルが並ぶ。
 提唱者G.ウォルフは、演出や解説、BGMを徹底的に避けて比較を可能にする体系的な映像モザイクを目指し、ECは20世紀の民族誌映画のひとつの型を作ったとも言われる。動物行動学の父コンラート・ローレンツ、EC愛好者から制作者に転身した元テレビ修理工マンフレッド・クルーガーなど、多彩な才能が結集して培われた映像制作の手法は後に各国に伝授され、そこから山形国際ドキュメンタリー映画祭等でも活躍する映画監督が育ちつつあるという。ケータイの動画撮影、Youtube映像……あらゆる断片映像の波に溺れる私たちの日常。こんな時代だからこそ、映像記録の原点ともいえるこの映像の百科事典が、新たな輝きを放つに違いない。今まさに、「客観」や「科学」の括りからECアーカイブを解き放ち、魅惑の標本箱の宝探しにくり出そう。

ゲスト

FENICSメンバー

FENICSとは？

学問分野や産学の壁にとらわれずフィールドワーカーをつなげ、フィールドワークの知識や技術、経験を互いに学びあい、新たな知を生み出すことを目指すグループ(NPO法人申請中)。設立を機に『FENICS 100万人のフィールドワーカーシリーズ』を刊行開始。全15巻にはフィールド調査の具体的なノウハウから災害や失敗の克服法、映像記録の技法まで、多様なテーマにあわせて200人を超えるフィールドワーカーが寄稿する。

佐藤靖明

(東アフリカ・民族植物学)

福井幸太郎

(南極ほか・雪氷学)

小西公大

(インド・社会人類学)

大橋麻里子

(アマゾン・環境社会学)

梶丸岳

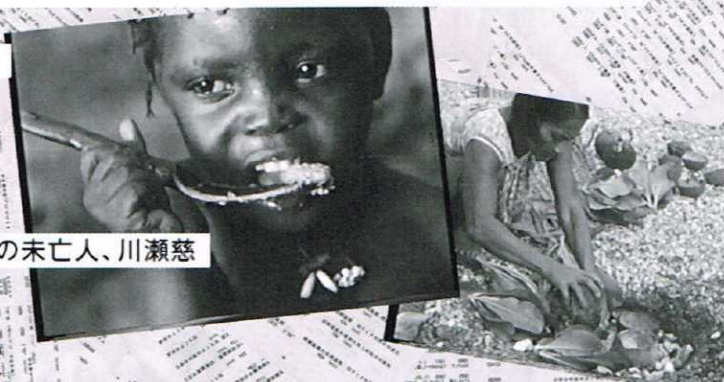
(ラオス・中国・歌掛け研究)

椎野若菜

(東アフリカ・社会人類学)

これまでのEC上映会 2012年12月より開催

- 第1回 「屠畜」ゲスト:関野吉晴、北出新司、本橋成一
- 第2回 「アフリカの音楽と芸能」ゲスト:川瀬慈、北中正和、石倉敏明
- 第3回 「かご編み」ゲスト:本間一恵、中川重年
- 第4回 「養蜂」ゲスト:佐治靖、中村純
- 第5回 「仮面」ゲスト:福岡正太、吉田ゆか子
- 第6回 「ECフィルムからのパフォーマンス創造Vol.1」ゲスト:双子の未亡人、川瀬慈



2014.7.20 日 17:30開場/18:00開演

会場:Space&Cafeポレポレ坐 東京都中野区東中野4-4-1ポレポレ坐ビル1階

予約:03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムズ社) 料金:予約1,500円/当日2,000円(ワンドリンク付)

■共催:公益財団法人 下中記念財団(平凡社の創立者下中弥三郎を記念し、教育・出版に関する助成を実施)、ポレポレタイムズ社

■企画:第7回EC上映班/下中菜穂(暮らしの自由研究室)、丹羽朋子(FENICS)、ポレポレタイムズ社

■協力:FENICS、川瀬慈(国立民族学博物館)、岡田一男(東京シネマ新社) ■宣伝美術:大橋祐介

フィールドワーク/フィールドワーカーに興味のあるあなたも
 FENICSに参加してみませんか?まずは下記HPにアクセス!

→ <http://www.fenics.jp/>

FENICS 100万人のフィールドワーカーシリーズ(全15巻)刊行開始

8月刊行予定 第5巻『災害フィールドワーク論』木村周平・杉戸信彦・柄谷友香編